

さわやか便り

2023. 10月号 (編集担当者: 酒井大介)

デイ・ホーム中丸

世田谷区野沢3-25-10

TEL: 03-5486-7400



9月の主なプログラムより

感染防止の手洗い・検温・マスクの着用にいつもご協力ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。



園児来訪



レクリエーション



レクリエーション



誕生会



8月

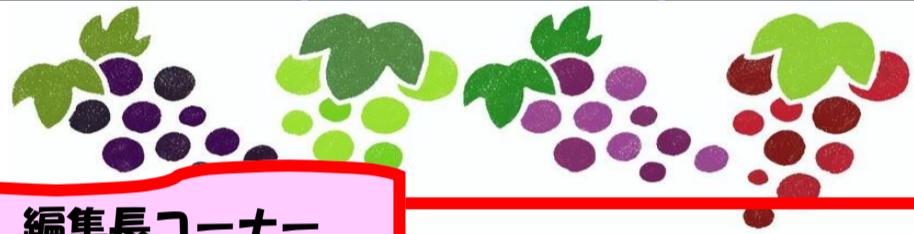


中・丸・広・場

上の写真にありますが、今年も、おともだち保育園・分園こまどめの園児さんたちが、敬老の日が近いということで9月15日(金)に会いに来てくれました。「赤とんぼ」を歌ってくれて、皆さんも一緒に口ずさむことができました。短い時間の交流でしたが、かわいい園児さんたちの姿にたくさんの元気をもらいました。

10月は「食欲の秋」、いえいえ「スポーツの秋」ということで運動会を予定しています。園児さんたちから頂いた元気パワーと、日頃行っている体操の成果を発揮してください。紅組、白組に分かれて、各組の応援もお願いします。運動会の際は、良い汗をかいてさわやかな秋を感じましょう!(花枝)

月	火	水	木	金	土
2 体重測定 大人の塗り絵 レク(ゲーム等)	3 書道 レク(ゲーム等)	4 大人の塗り絵 レク(ゲーム等)	5 フラワーアレンジ レク(ゲーム等)	6 大人の塗り絵 レク(ゲーム等)	7 書道 レク(ゲーム等)
9 カレンダー作り(大) イチョウ切り抜き カラオケ	10 手工芸 (ちぎりアート) レク(ゲーム等)	11 書道 レク(ゲーム等)	12 大人の塗り絵 レク(ゲーム等)	13 書道 レク(ゲーム等)	14 手工芸 (ちぎりアート) レク(ゲーム等)
16 理美容 フラワーアレンジ レク(ゲーム等)	17 手工芸 (予備日) レク(ゲーム等)	18 誕生会 中丸運動会	19 中丸運動会	20 フラワーアレンジ レク(ゲーム等)	21 手工芸 (予備日) レク(ゲーム等)
23 書道 レク(ゲーム等)	24 誕生会 大人の塗り絵 レク(ゲーム等)	25 カレンダー作り(大) イチョウ切り抜き カラオケ	26 誕生会 大人の塗り絵 レク(ゲーム等)	27 誕生会 書道 レク(ゲーム等)	28 フラワーアレンジ レク(ゲーム等)
30 カレンダー作り(大) レク(ゲーム等)	31 カレンダー作り(大) レク(ゲーム等)	10月のお誕生者			



編集長コーナー

近年日本でも盛り上がりを見せているハロウィンの季節が、もうすぐやってきます。今回はハロウィンについてピックアップしたいと思います。

ハロウィンとは：毎年10月31日に行われるお祭りの名称です。

古代ケルト人たちが行っていた「サウィン祭」儀式が起源とされていますが、現在では本来の意味はほとんど無くなっており、子供たちが仮装をしたりお菓子をもらったりして楽しむことがメインとなっています。

どうしてハロウィンの日は仮装するのか？

10月31日の夜は、古代ケルト人にとって「ご先祖様の霊が訪ねてくる日」、つまり日本でいうところの「お盆」のような日でした。この夜はご先祖様の霊だけでなく悪霊や魔女もやってくると考えられていたため、それらを追払う目的で不気味な仮面を身につけたといわれています。

現代ではこの慣習から「ホラー的要素」だけをそのまま受け継ぎ、「魔女」「吸血鬼」「おばけ」などの仮装が定番となりました。

「Trick or Treat(トリック・オア・トリート)」の意味「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ」という意味です。

アメリカなどの国々では、子供たちがハロウィンの夜に仮装して近所の家をまわり、この言葉を唱えます。一方、大人たちはこの日のためにたくさんお菓子を用意しておき、子供たちが訪ねてきたら「Happy Halloween(ハッピー・ハロウィン!)」と歓迎し、お菓子をあげます。

ハロウィンの定番であるこの行事は、古代ケルト人の「サウィン祭」と、キリスト教初期の祝日である「ソウリング」が混ざり合ってきた風習が元になっています。

※ソウリング…死者の日(11月2日)に、亡くなった人を供養するため、仮面をつけた子供たちが家々を回って「ソウルケーキ」を分けてもらう風習のこと

ジャック・オ・ランタンについて

ジャック・オ・ランタンは、オレンジ色のかぼちゃをくり抜いてランタンにしたもので、ハロウィンのシンボリック的存在です。これには通常、悪霊を追い払ってくれるように「怖い顔」がデザインされています。

ジャック・オ・ランタンは日本でいう「鬼火」が元になっているといわれており、そこから「ジャックの物語」が生まれました。

世界各国のハロウィン

アメリカ/カナダ：世界中で最もハロウィンを楽しんでいるのは、アメリカやカナダではないでしょうか。これらの国では毎年ハロウィンの時期になると、ゾンビや吸血鬼などのホラー系キャラクター、または好きなアニメや漫画のキャラクターに仮装をして、家族や友達とパーティを開きます。

アイルランド：ハロウィン発祥の地であるアイルランドでは、今でも「秋の収穫祭」や「悪霊を祓う祭り」といった本来の意味を大切にされています。

ちなみにアイルランドの学校は10月の最終週は丸々休校で、ハロウィンにまつわる様々な行事をみんなで楽しむそうです。国全体でハロウィンをお祝いしていることが伝わってきますね。

フランス：フランスでは日本と同じように、「ハロウィン=アメリカ由来の行事」として認知されています。楽しみ方も日本との共通点が多く、みんなで集まって仮装パーティを開いたり、地域のイベントが開催されたりするようです。

ちなみに「Trick or Treat(お菓子をくれなきゃいたずらするぞ)」はフランス語で「Des bonbons ou un sort(お菓子をくれなきゃ魔法をかけちゃうぞ)」と言います。フランスでは昔から魔女に対する恐怖心があるため、「魔法」という言葉が使われるようになりました。

日本：私達の住む日本では、1980年代から徐々にハロウィンが普及していきました。その後は1990年代から東京ディズニーリゾートがハロウィンイベントを開催したり、2000年代からお菓子メーカーが参入したりしたこともあって、今ではすっかり国民的なイベントまで成長しています。

派手な仮装を楽しむ人も多く、街はお祭りムードでいっぱいになりますが、その反面、ハメを外し過ぎた一部の人が警察沙汰になるなどの問題も出てきました。

このような問題に対しては市区町村単位で対策が取られることが多く、また参加者も節度を守って楽しもうとする人が増えてきているようです。

